

個人質問

議会事務局
処 理 欄

令和7年8月2日 9時02分 受付

質問 順位 第 5 番

武豊町議会議長 石川よしはる 殿

武豊町議会議員 福本 貴久

一般質問の通告について

令和7年第3回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質問事項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1. 学校給食について	【趣旨説明】 福岡市の小学校で、今年の4月18日に提供された給食の主菜が、「鶏の唐揚げ1個」のみであったことが全国的な話題となり、「量が少なすぎる」「子どもたちがかわいそうだ」といった声が広がった。この出来事をきっかけに、学校給食の在り方に多くの関心が寄せられた。福岡市教育委員会は「栄養基準は満たしている」と説明したが、見た目の寂しさや、成長期の子どもたちの満足感、給食の「楽しみ」といった側面が十分に考慮されているのか、疑問の声も上がった。 学校給食は、子どもたちが学校生活の中で毎日楽しみにしているものであり、単なる栄養補給の場ではない。友だちと一緒に食事をすることでコミュニケーション能力やマナーが育まれ、地元の食材や伝統料理を知ることで食文化への理解も深まり、食育の観点からもバランスの良い食事や正しい食習慣を身につける重要な機会となっている。 一方で、昨今の物価高騰や人件費の上昇に伴う給食費の問題など、学校給食を取り巻く環境は厳しさを増している。限られた予算の中で栄養価を確保し、子どもたちの満足度を高めるためには、現場の工夫や努力が求められる。さらに、アレルギー対応や多様な食文化への配慮など、給食に求められる役割も年々広がっている。 こうした状況を踏まえ、武豊町でも子どもたちが安心して、そして何より「楽しみ」として給食を味わえる環境づくりが重要だと考える。本町では現在、新たな給食センターの建設が進められており、今後の学校給食への期待も大きい。 そこで、武豊町の学校給食の現状と課題を確認し、子どもたちにとってより良い給食の提供を目指すため、以下の点について質問する。 【質問事項】 ①小中学校で提供されている給食の主菜や副菜の量・内容は、どのような基準で決められているか。また、栄養価やカロリーの基準はどのように設定されているか。 ②給食に対する子どもたちの満足度や意見をどのように把握し、活用しているか。 ③給食が「楽しみ」となるような工夫（地元食材の活用、季節や行事に合わせた特別メニュー、見た目の工夫など）はどのように行われているか。 ④学校給食を栄養補給の場にとどめず、食育の観点から取り組んでいることがあれば伺う。 ⑤食物アレルギーや宗教・文化的な理由で食べられない食材がある児童生徒への対応はどのように行っているか。 ⑥物価高騰の問題が給食の質や量にどのような影響を与えているか。 ⑦食材費や光熱費の高騰による給食事業への影響と、今後の給食費についてどのように考えているか。 ⑧新しい学校給食センターの工期は令和8年7月31日までとなっているが、この施設の供用開始はいつか。また円滑な給食提供に向けた取り組みは。 ⑨学校給食センターが新しくなることで、現在の施設より向上する点はどこか。 ⑩新しい給食センターにおいて、給食調理員の人員体制や労働環境、働きやすさの確保について、現状の施設と比較し改善される点があれば伺う。